

「MALAYSIA JAPAN COLLABORATION ON SMART MANUFACTURING

- SEMINAR SERIES 2019 - 6th Seminar Session」 登壇レポート

2019年10月24日(木)にマレーシア・クアラルンプールで開催された「MALAYSIA JAPAN COLLABORATION ON SMART MANUFACTURING - SEMINAR SERIES 2019 - 6th Seminar Session」にて、アムニモ株式会社取締役竹内亮氏が登壇しました。アムニモ社はIoTプラットフォームとして、マレーシアの産業の高度化を支援することを訴求しました。

<イベント概要>

マレーシアは、2018年10月31日にインダストリー4.0国家政策を開始しました。本イベントは、マレーシア政府と日本政府との共催セミナーの第6回目で、マレーシアの中小企業がインダストリー4.0の技術を導入し、マレーシア経済のボトムアップを推進することを目的として開催されました。

- 時間 : 2019年10月24日(木) 9:00-13:30
- 場所 : Innovation Hall, SIRIM, Bukit Jalil, Kuala Lumpur, Malaysia
- 共催 : SIRIM STS Sdn. Bhd.
- 参加者 : 約85名(中小企業の製造業社、中小企業の商社、SIベンダ、政府機関、等)

①セミナーセッション

本セッションではアムニモ株式会社と KDDI Malaysia Sdn. Bhd.の 2 社がセミナー形式で登壇し、各社がスマートマニュファクチャリングに必要なインダストリー4.0 技術の概念や自社のソリューションの導入事例について講演を行いました。アムニモ株式会社取締役竹内亮氏は、迅速かつ容易な立ち上げを可能にするアムニモの IIoT サービスを紹介し、お客様のビジネス改革への貢献を提言しました。多くのご来場者から、アムニモのサービス特徴である月額制のサブスクリプションモデルや、簡単に”測る・つなげる・活用する”を可能にする Measurement as a Service (MaaS)ビジネスに興味を持っていただきました。プレゼンテーション終了後には、参加者からの質問に竹内氏が回答し、アムニモをより深く理解していただきました。



アムニモ株式会社竹内亮取締役による講演



参加者からの質問に回答する竹内氏



セミナー会場満員の様子

②ミニブース展示

アムニモはマレーシアでスマートマニュファクチャリングを実施・活用する事例として、ミニブースに amnimo sense (アムニモ センス) を活用した2つのレシピデモを展示しました。

1. 温度監視レシピ(適応事例：水産冷凍室内等)
2. CO2 濃度監視レシピ (適応事例：建物内不快検知等)

実際に作動しているアムニモ製品やダッシュボードの展示を行ったことにより、ブース訪問者にはアムニモサービスの理解を深めていただくことができました。なお、本ブースは、アムニモとマレーシアにおけるパートナーである TK International Sdn. Bhd. (TKI)が共同で運営を行いました。



ミニブース展示の様子

以上